



武志の幼なじみの父親を演じる升毅さん。「鹿児島には個人的な縁もあり、すでに5回訪れています。大綱引の魅力が全世界に届けたい」



武志の妹を演じる比嘉愛未さん。「鹿児島は初めてで楽しみでした。川内が誇る大綱引が縁を結んでいく。いい映画になるように精一杯やらせていただきます」



武志の母親を演じる石野真子さん。「地域の方たちと触れ合うととても温かくて。皆さんの声を聞いて頑張りたいと思いました」



本作品のプロデューサーでもあり、武志の父親を演じる西田聖志郎さん。「川内大綱引を初めて見て、3,000人がぶつかり合うさまに、これは撮るしかないなと」



映画「大綱引の恋」

キャスト集結!

鹿児島島にきた時の印象は、真っ暗で何もなくて。でも、夜空がきれい。本当に見たことのないきれいな夜空だと思いました。鹿児島島のいろんなところに行きたいと思っています。そして黒豚も食べたい。撮影では、大綱引の再現シーンを楽しみながら撮影しています。この作品は、一人一人のキャラクターが生きていると思います。これまで日本人役

皆さんとは初共演ながら、この中に入っていることが心強くと感じています。この環境で撮影できることがとてもうれしです。ヒロイン 知英さん 研修医 ヨ・ジヒョン役



武志の妹の恋人を演じる中村優一さん。「本番の大綱引を見て、気持ちが熱くなって自分も出たい、出たいと言ってスタッフに止められました(笑)」



武志の幼なじみを演じる松本若菜さん。「全編鹿児島県という素晴らしい環境で、地域の方たちの多くの協力もいただいているので頑張りたいです」



監督の温かい人柄からか会見は終始和やかなムードで進み、記者からの要望で石野さんと比嘉さんが鹿児島島弁を披露する一幕も。

本市が舞台となる映画「大綱引の恋」の撮影が9月からいよいよ始まり、9月28日(土)には、川内ホテルで記者会見が行われました。会見には、佐々部清監督、主演の三浦貴大さん、知英さんをはじめ、豪華な俳優陣が顔をそろえました。



主演の三浦貴大さん。上方の一番太鼓で、大綱引に青春をかけるとび職の跡取りである主人公有馬武志を演じます。



市を挙げて、映画「大綱引の恋」を全力で応援していきたいですね。



「大綱引の恋」公式サイト

ヒロインの知英さん。下甞島の診療所に勤める韓国医 研修医 ヨ・ジヒョンを演じます。



撮影中のワンシーン。本番さながらの迫力を見事に再現しています。

今回の作品では、三浦さんの朴訥さの中に持つあでやかさをどう見せられるかと知英さんのうまくなり過ぎた日本語をどう崩すかがポイントだと思っています。また、主役のお二人は、私の作品に初めての起用だったので、周りのキャストにはこれまで私の作品に出ていただいた信頼のある方々を用意しました。

映画「大綱引の恋」を全力で応援します



佐々部清監督

今回の作品では、三浦さんの朴訥さの中に持つあでやかさをどう見せられるかと知英さんのうまくなり過ぎた日本語をどう崩すかがポイントだと思っています。また、主役のお二人は、私の作品に初めての起用だったので、周りのキャストにはこれまで私の作品に出ていただいた信頼のある方々を用意しました。

今回は、皆さんに「大綱引の恋」の記者会見の様子を少しだけお届けします。

この作品は、家族と、海を越えた人間同士のつながりを描いた作品になると思います。良い映画になるように頑張りたいです。一番太鼓の練習では、ずっと腕を上げていたので、腕が痛いです。本番では皆さん40分間たき続けていらっしやっただので、本当にすごいことだと思いました。歴代の一番太鼓の方々にも代わる代わる教えていただいたので、身の引き締まる思いです。父は、昔から、家では仕事の話はしない人だったので、今回の映画の件についても特に両親からのアドバイスはもらっていません。気の利いた話ができなくて申し訳ないです。仲は良いです(笑) 映画が好きなので、これからもやっていきたいと思っていますが、この作品では、演じる上での自分の感情や心情を一番考えた作品となりました。自分のターニングポイントではないですが、そのようなものになればいいと感じています。どんな作品になっていくのか楽しみです。しっかりと務め上げたいです。

このあと、一番大事なシーン(国道3号での本綱)の撮影を控えており、雨が降らないでほしいという思いで頭がいっぱいです。昨年と今年に撮影した大綱引の本番の再現を一番太鼓を中心にして撮る予定で、撮影順番はコマ撮りで順不同ですが、スタッフとの信頼関係でテンションを保ちながら撮影したいと考えています。

主演 三浦貴大さん とび職三代目 有馬武志役